

Final Stage

ぜっ校長!

第28号・・・明日は体育祭!!
2019(令和元)年 10月30日(水)
稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆「絶対にけが人を出さないムカデ競争」に挑戦します!

▼事故が起きたのは、先週の木曜日のことです。(私は群馬に出張しており、教頭先生から電話で報告を受けました。)体育祭の『ムカデ』(＝ムカデ競争)の練習中に転倒した生徒が「全治1ヶ月」という大けがを負ったのです。その生徒は3年生。中学校最後の体育祭だというのに、すべての種目に参加することができなくなったのです。群馬からの帰りの新幹線の中で、また土日に、私は校長としてどう対応するべきかをずっと考えました。つまり、「体育祭を目前にして、『ムカデ』を取り止めるか否か」という決断を迫られていたのです。数年前から、運動会や体育祭で、特に『組体操』で大けがを負った児童・生徒、そしてその学校がしばしば報道され、ついに文部科学省が全国の学校に「児童・生徒の安全面に最大限の配慮を」という通達を出すまでにその波紋が広がっていたからです。

▼月曜日、今回の事故について教育委員会に報告したところ、「(取り止めるという選択肢も含めて)安全面の配慮を再検討するように」との指導を受けました。午前中に主任会を行い、「“取り止め”もやむを得ない」という方向が出されました。昼休み、大けがを負った生徒と面談をもちました。「練習を重ねていくうちにだんだんスピードが増していった、とても怖かった。私のようにけがをする生徒がもう出てほしくない」と彼女は言いました。さらに彼女は、「私は中学校最後の体育祭に出場できなくなったけど、当日は委員会の仕事で体育祭を盛り上げます!」と言ったのです。私は彼女に約束しました。「あなたのような前向きな生徒が、「おまえのせいで『ムカデ』がなくなってしまった」なんてバッシングを受けるようなことは絶対に許さない!」と。放課後、生徒会長の坪井くんと面談をもちました。『ムカデ』は班で協力し合う唯一の種目。「絶対にけが人を出させない方法」でどうしてもやらせてほしい!と彼は熱く語ってくれました。職員会、そしてその後の体育祭実行委員会で、先生方も夜遅くまで“絶対にけが人を出させない方法”について審議・検討をしました。今年度の新しい『ムカデ』の大成功と無事故を祈り、期待します。



☆What Cool Students! 稲中生、頑張っています!

【部活動や個人の表彰など】 ※敬称略

◎男子バスケットボール部

10/14 各務原市新人戦バスケットボール大会 **優勝!**

10/27 岐阜地区中学校バスケットボール新人大会 **第3位!**

➡ **優秀選手賞** 吉田 晴登(2-3)

➡ **県大会出場!**

【ボランティア 50 回達成者】 ※敬称略 ②=2冊目 ③=3冊目 ④=4冊目 ⑤=5冊目

◎山田 悠翔(1-3)② ◎奥村 昇(1-3) ◎丹羽 真人(1-3) ◎荻谷 唯(1-3)
◎向江 琥雅(1-1)④ ◎濱口 祥(1-1)③ ◎伊藤 結(1-2) ◎山下 晴香(1-2)
◎長尾 一樹(1-2) ◎小島 湧生(1-2)② ◎高井 陽介(2-3) ◎堀部 亨介(2-3)
◎伊藤杏南実(1-2) ➡**6冊目!** ◎奥村 萌果(1-1) ➡**7冊目!**

◎奥村みつな(1-1) ➡**ついに8冊目!!**



現在244冊!(実質123名!)・・・体育祭の取組中でも達成者が続出していますよ!

